

News Release

Hyundai、新車整備センターを愛知県豊橋市に新設し、 4月から三河港への入港を開始

- 4月15日（土）に第一船が三河港に入港
- 今後は新車整備センターを愛知県豊橋市に集約
- 陸揚げから新車整備まで半径5km圏内で一貫して行うことが可能となり業務効率化に期待
- 輸入車新車整備に長年の経験のある株式会社上組に作業を委託し一層の品質向上をはかる



Hyundai Mobility Japan 株式会社（神奈川県横浜市西区みなとみらい 代表取締役社長：趙 源祥、以下 Hyundai）は、愛知県豊橋市に新車整備センター（PDI センター）を新たに設置し、2023年4月15日（土）に第一船が三河港神野埠頭に入港いたしました。今後は PDI センターを豊橋市の1拠点に集約し、一層の品質向上をはかると共に安定した出荷体制を構築します。

このたび愛知県豊橋市に新設した PDI センターは、三河港に隣接し新車の陸揚げから整備・保管を半径5km圏内で行うことができ、効率の良い新車整備が可能となり、今後の輸入台数増加を見据えた新車の安定供給を目指します。

また、港湾事業に長い歴史を持ち、輸入車の新車整備においても経験豊かな株式会社上組（かみぐみ）に

一連の業務を委託し、同社の豊富な知見と共に一層の品質向上を目指してまいります。

愛知県豊橋市での PDI センター新設の背景

愛知県三河港は日本有数の自動車輸出入港湾として全国的に知られ、その中心にある神野地区は国内外の大手自動車メーカーの輸出入に利用されており、また多くの輸入車ブランドが新車整備を行っています。

日本のほぼ中央に位置することから全国各地への配送利便性が高く、行政も自動車専用船の入港誘致に積極的であり、埠頭の耐震化促進や大規模モータープールの開発などの設備投資や設備計画に取り組まれています。さらに、豊橋市には輸入車に対する補助金をはじめとするインセンティブ制度があり、このような自治体からのサポートを受けることができます。

Hyundai の主力商品：EV 「IONIQ 5 (アイオニック ファイブ)」



「IONIQ 5」は、ジオルジェット・ジウジアーロ (Giorgetto Giugiaro) による 1974 年型ポニーコンセプトをオマージュしたモデルです。Hyundai の過去と現在、そして未来を繋ぐ「Timeless value 時間を越えた価値」というコンセプトから生まれました。さらに、サステナブルかつ革新的な機能の搭載や広い室内空間を実現したことで、新しい EV エクスペリエンスを提供します。また、国内外で高い評価を受けており、様々な賞※を受賞しております。

※ 2022 German Car of the Year、UK Car of the Year 2022、2022 World Car of the Year、2022 World Electric Vehicle of the Year、2022 World Car Design of the Year、2022-2023 インポート・カー・オブ・ザ・イヤー

<https://www.hyundai.com/jp/ioniq5>

Hyundai (ヒョンデ) について

1967年に設立された Hyundai Motor Company は、世界 200 カ国以上でトップクラスの自動車とモビリティサービスを提供し、全世界で 12 万人以上の従業員を雇用しています。また、より持続可能な未来の到来を見据えた製品ラインアップを強化すると共に、現実のモビリティ課題に対する革新的なソリューションを展開しています。Hyundai は、このプロセスを通じて人と人とのつながりを活性化し「Progress for Humanity (プログレスフォーヒューマニティ)」を掲げ、人類のための進歩に貢献することにより、お客様に質の高い時間を提供するスマートモビリティソリューションプロバイダーを目指しています。

日本法人名 : Hyundai Mobility Japan 株式会社
設立 : 2000年1月7日
本社 : 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-1 みなとみらいセンタービル16階
代表者名 : 代表取締役社長 趙 源祥